

近畿中国局フォレスターNEWS

コ ンテナ苗植栽見学会を開催（和歌山県）



コンテナ苗の大苗と普通苗の説明



植栽する参加者

3月6日、和歌山県西牟婁郡すさみ町の宮城川国有林で、コンテナ苗植栽見学会を開催しました。この見学会は、複数府県に跨る共通な課題に対応した取組として、和歌山森林管理署、三重森林管理署、奈良森林管理事務所が共同開催したものです。

当日は、和歌山県、三重県、奈良県、和歌山水源林整備事務所、和歌山県山林種苗協同組合、龍神村森林組合、西牟婁森林組合、大辺路森林組合、低コスト造林技術研究会（山長商店株式会社 マルカ林業株式会社、塩路株式会社、東濱植林株式会社）、木原造林株式会社、近畿中国森林管理局森林整備課・技術普及課から、合計76名が参加しました。現地では、和歌山署から、スギのコンテナ苗（大苗（3年生）、普通苗（2年生））の説明を行い、裸苗とコンテナ苗の植栽の様子を実演した後、参加者全員で、伐採跡地に約800本のコンテナ苗を植栽しました。

植栽後に、「コンテナ苗は仮植が必要ないこと」、「コンテナ苗の生産には散水が大切なこと」、「植栽の大まかな歩掛について」、「今回植栽した大苗（3年生）は、これまで規格外として生産側で処分されているものであり、大苗でも造林に支障が無いことを今後検証していくこと」等を説明して、今回の見学会を終えました。

なお、和歌山署、三重署、奈良所が5月に共同開催した「新たな低コスト造林普及に向けた現地検討会」については、次号に掲載する予定です。

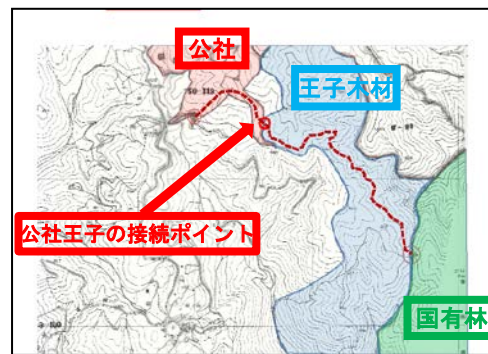
森 林共同施業団地の現地検討を実施（岡山県）

岡山森林管理署では、新見市大佐田治部（おおさたじべ）地域の森林整備等推進協定の締結に向けて、関係者間で調整を進めています。

4月25日、おかやまの森整備公社、王子木材緑化株式会社、岡山署の三者で、起点となる公社造林地から終点となる赤滝国有林までの区間を効率的な線形となるように、森林作業道のルート選定について現地検討を行いました。

現地検討の結果、公社造林地と社有林の境界に、河床幅が比較的狭く安定した沢があることから、ここを接続ポイントとするルートを選定しました。また、今後、公社が既設森林作業道の改良及び森林作業道の新設を行い、王子木材緑化が自社社有林部分のルートを決めた後に、岡山署は社有林から赤滝国有林に向けてのルートを決定的こととしました。

岡山署は、今後も三者にとって効率的なルートの選定等について、関係者間で現地検討等を行っていく予定です。



編 集 後 記

近畿中国森林管理局では、平成25年度からコンテナ苗の普及に向けた現地検討会を開催しており、少しずつ民有林関係者に普及しはじめたのかなと感じております。今号は、フォレスター活動の一環でもあるコンテナ苗の現地見学会を記事にしました。

関係者の皆様へ、平成28年度に引き続き29年度もよろしくお願いたします。

林野庁

近畿中国森林管理局

技術普及課



国民の森林・国有林

TEL: 06-6881-3524 FAX: 06-6881-2055

URL: <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75